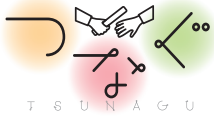


地域からの 期待の声

今回は、健和会と医療活動や地域活動をしていただいている各団体の代表者様より、新病院への期待の言葉をお寄せいただきましたのでご紹介いたします。

健和会と登録医を



新大手町病院へのふくらむ期待

健和会登録医師の会 会長 長崎 修二

新大手町病院の建て替え移転を待ち遠しく思います。約20年前、私が大手町病院に赴任したときその威風堂々の16階建ての病院の目の前にはカネミ倉庫の古びた低い屋根が見えていたものでした。それも今は昔、今や周囲は新しいマンションだらけとなり、すぐ前には小倉北消防署が引っ越してきています。大手町病院には北九州の救急医療の第一人者として毎年7000台を超える救急車受け入れの実績があります。一般市民はもとより、わたしたち開業医にとっても頼りの網となっています。

また、民医連の病院として社会的弱者のための医療を真剣に守る活動を地道に続けています。そんな大手町病院が2021年の11月を目処に新築移転することになりました。

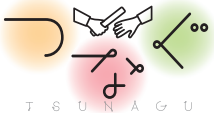
現代の医療情勢を受けて現在の499床から449床へとスリム化して機能を研ぎすますとのこと。私たち登録医師の会としても、いい病院づくりのお手伝いをしたい気持ちと、ともに力を合わせて地域の医療を守っていききたい気持ちでいっぱいです。



健やかネットでも
新病院建設を
随時掲載!

健和会大手町病院の活動を発信する「健やかネット」
登録医の方を毎号ご紹介しています

健和会と友の会を



新病院開院を契機にさらなる発展を

北九州健康友の会 会長 吉久 安則

新大手町病院の建設が順調に進み 2021年秋頃に開院のはこびとなると聞いています。私達北九州健康友の会は「健和会」と共同して地域から健康を守り安心して住み続けられる街づくりを求め運動に取り組んでいます。

今日までの「社会保障制度」改悪によって地域では貧困と格差が広がり、病気になっても医療費を支払う事が出来ず、必要な医療も受けられない人々が増加しています。

無料低額診療制度をはじめとして常に弱者に目を配り良い医療の提供に取り組んでいる健和会大手町病院がこの建設・開院を「契機」として更に発展されることを期待しています。

これからも地域と私達に「希望」と「未来」を届ける病院としてその存在感を発揮してほしいと思っています。



ぽーとなーでも
新病院建設を
紹介しています!

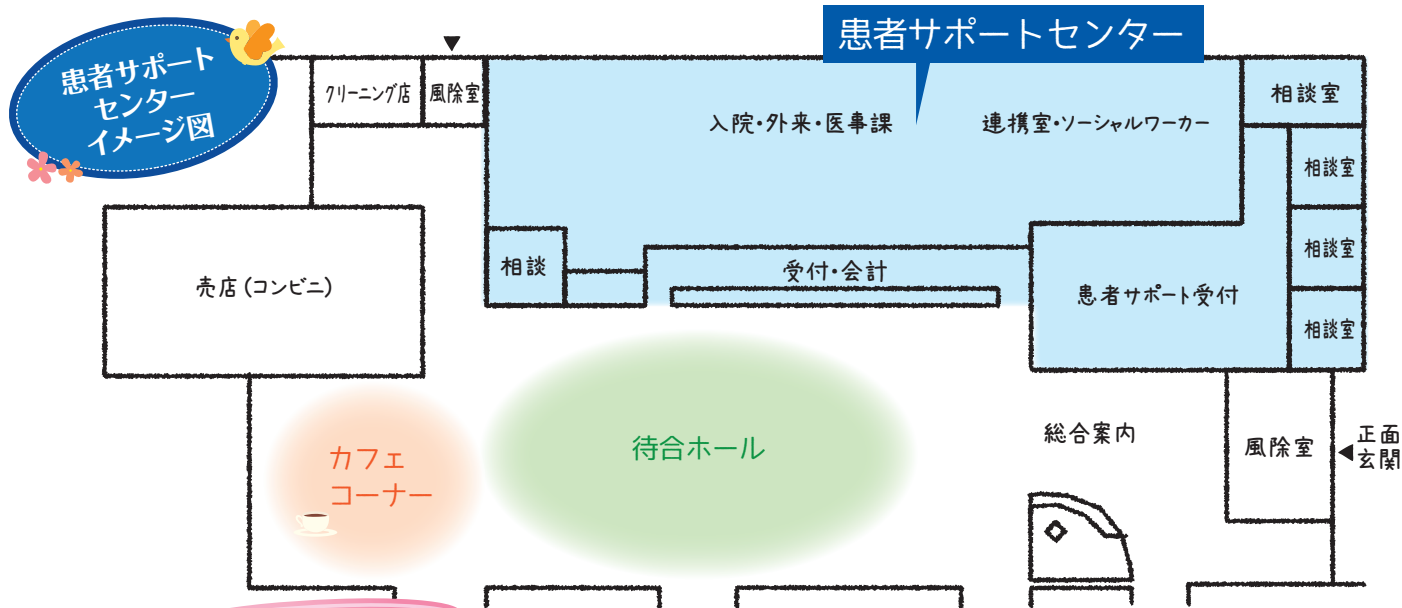
友の会と健和会が共同で作る通信紙「ぽーとなー」

友の会向け説明の様子



患者サポートセンターのご紹介

新病院では、患者サポートセンターを設置し、スムーズな院内連携と相談窓口対応で患者様へのサービス向上を目指します。主な特徴をご紹介します。



患者サポートセンターの特徴

- Point 1 容易なアクセス**
正面玄関を突っすぐ右手の位置に配置して、より利用しやすいサポートを提供いたします。
- Point 2 シームレスな連携でサービス向上**
外来から入院、そして退院調整まで、地域の医療機関とも連携してサポートさせていただきます。外来医事課・入院医事課・医療連携室が同じフロアの職場配置でシームレスな院内連携が可能です。
- Point 3 プライバシーに配慮した相談室**
個室の相談室を複数備えプライバシーにも対応しています。



安心して入院していただけるよう入院前や入院受付の際に患者さんと病院スタッフが話す時間を設け少しでも不安を減らします。



さらなる安心を

ひとことリレー



医療相談・医療福祉連携部

新大手町病院竣工に向けて、新病院にかける意気込み・各部門の特徴を紹介します！

医療相談・医療福祉連携部です。

2019年9月に着工となり、いよいよ2021年11月新病院開院に向けて進み始めました。当院は急性期病院・地域医療支援病院という役割の中で、患者の暮らしを大事にし、地域と病院・院内の多職種など様々な場面での『連携』を図ることに努めています。新病院コンセプトにある「地域の要求にこたえられる開かれた病院」「社会的・経済的困難を抱える人々のよりどころとなる病院」に込められるよう私達、医療相談・医療福祉連携部は更に一丸となり、全力でサポートしていきます。皆さまのご協力の程、よろしくお願い致します。